

# 新東名高速道路



## 令和3年度中の開通に向けて IC・SA・スマートIC名称が **決定** しました!

新東名高速道路は、海老名市から愛知県豊田市に至る延長約253kmの高速自動車国道です。いよいよ伊勢原大山ICから新秦野ICまでの開通が近づいてきています。  
 (※秦野丹沢SAの開業予定時期は未定です。お手洗い、駐車場などの利用はできません。)

注) IC：インターチェンジ  
 SA：サービスエリア  
 JCT：ジャンクション



### 期待される効果

新東名高速道路の開通により、交通利便性が向上し、観光資源を活用した地域活性化、災害時の支援体制の強化などさまざまな効果が期待されます。

#### 1 交通利便性の向上

市内の上地区および北地区の2カ所から新東名高速道路へのアクセスが可能となり、利便性の向上が見込まれます。また、市街地や幹線道路を回避して高速道路へのアクセスが可能となることで、一般道の渋滞緩和による沿道環境の改善や交通事故の減少も期待されます。

#### 2 救急・サービスの向上

現在、高度医療施設である東海大学病院(伊勢原市)へのアクセスは、国道246号が中心となっていますが、慢性的な渋滞が発生する路線であり、1分1秒を争う人命救助において、搬送時間が大きな課題となっていました。新東名高速道路を利用することで、所要時間の短縮による救命率の向上が見込まれることや高速道路の走行による振動の抑制などにより、搬送時のより正確な手当や傷病者の負担軽減などの効果が期待されます。

#### 3 災害時の支援体制の強化

東海地震などの大規模な災害が発生した際に、現東名高速道路や国道246号が寸断されると、物資の輸送や救命活動に大きな支障となり、市民の生活においても大きなリスクを抱えることになります。新東名高速道路の開通により代替ネットワークが確立され、迅速な救援・救助や物資輸送路の確保など、大きな役割を果たすことが期待されます。

### 開通予定時期





# 市の取り組み

## スマートICアクセス道路等の整備

新東名高速道路の開通を見据え、本市では、秦野丹沢スマートICと地域の幹線道路である県道705号とを接続する道路(アクセス道路)の整備を実施しました。

また、スマートIC開通に伴い、交通量の増加が見込まれることから、県道705号の右折レーン整備を行ったほか、歩道の整備など秦野丹沢SA周辺道路の安全対策事業を実施しています。

今後は、スマートICの利用者誘導のため、市内の幹線道路を中心に案内標識の設置を進める予定です。



市街地案内標識(※イメージ)



歩道整備施工状況(令和3年11月撮影)

## NEXCO中日本からのお知らせ



### 秦野事業PR館

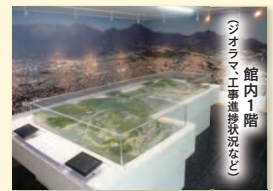
平成31年1月から秦野丹沢SA建設地に秦野事業PR館を開館しています。

PR館では市内の工事の進捗状況や完成予想図、出土した埋蔵文化財や開通後をイメージしたジオラマなどを展示しています。ぜひ、一度足をお運びください。

なお、見学には予約が必要です。

## ご予約はこちらから! (電話・WEBも同様の受付)

窓	□ NEXCO中日本(秦野工事事務所)
電話予約	☎(80)5600(平日:午前9時~午後5時半)
予約受付	◆受付開始:30日前の午前9時から ◆受付締切:7日前の午後4時まで ◆キャンセル受付:2日前の午後4時まで
見学開催日	火曜(午前10時・11時)、水曜(午後1時半・2時半・3時半)、木・土曜(午前10時・11時・午後1時半・2時半・3時半)
参加費用	無料
WEB	<a href="https://airrvs.net/shintomei-hadano/calendar">https://airrvs.net/shintomei-hadano/calendar</a>



ジオラマ工事進捗状況など



出土品埋蔵文化財VRなど

## 厚木秦野道路(国道246号バイパス)

### 厚木秦野道路の期待される効果



#### 1 渋滞の緩和

厚木秦野道路開通により国道246号で慢性的に発生している交通渋滞が緩和され、交通の流れがスムーズになり、沿道の実環境改善にも貢献します。

#### 2 生活道路の機能改善

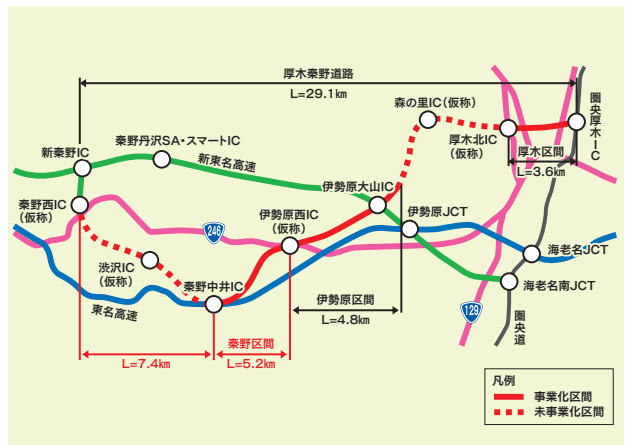
国道246号の渋滞が緩和することにより、市内の生活道路を抜け道としての車も減少し、安全で静かな環境につながります。

#### 3 時間短縮・地域間交流

厚木秦野道路は、東名高速道路、新東名高速道路、圏央道との連結により高速ネットワークへのアクセスが向上し、地域の交流・連携の強化が期待されます。

厚木秦野道路は、厚木市から秦野市へ至る、延長約29kmの自動車専用道路です。

本市域内においては、伊勢原西IC(仮称)(伊勢原市善波)から東名秦野中井ICまでの5.2kmは事業化されていますが、東名秦野中井ICから秦野西IC(仮称)までの7.4kmは事業化されていません。



凡例  
■ 事業化区間  
■ 未事業化区間

## 整備促進に向けた取り組み

厚木秦野道路の早期整備および全線の早期事業化に向けて、本市、伊勢原市、厚木市、中井町、大井町、松田町、清川村の7市町村で「国道246号バイパス建設促進協議会」を組織し、国などの関係機関に継続した要望活動を行っています。

今年、新型コロナウイルスの影響もあり、昨年に引き続き、WEB会議システムを利用した要望を実施しました。



WEB会議による国土交通省大西副大臣への要望活動の様子(令和3年7月撮影/左画面は高橋市長)

## 事業化区間の状況

伊勢原西IC(仮称)から東名秦野中井ICまでの事業化区間は、平成27年より測量及び地質調査が開始され、昨年10月から11月には地元関係者を対象とした説明会が開催されました。

今年度も9月に西大竹地区で地権者の立会いのもと用地測量が行われたほか、9月から11月にかけて湧水・井戸・河川等の分布状況把握のための水文調査が実施されました。

また、トンネル区間において、現在地層の層厚や分布状況、地下水の状態等を把握するためのボーリング調査・弾性波探査が行われているなど、着実に事業が進捗しています。



用地測量・調査の様子(令和3年9月撮影)

お問い合わせ

県事業推進課(新東名・厚木秦野道路) ☎(82)5746  
道路整備課(スマートIC・アクセス道路) ☎(82)9636

✉kuniken@city.hadano.kanagawa.jp  
✉d-seibi@city.hadano.kanagawa.jp